

地域デザインフォーラム・ブックレット

No.2

# 板橋区民の コミュニティ意識調査

大東文化大学・板橋区  
地域デザインフォーラム

## 地域デザインフォーラム ブックレット刊行にあたって

大東文化大学と板橋区は2000年5月から、地域連携研究「地域デザインフォーラム」を始めました。これは大学と行政が連携して、地域の政策課題を共同研究するというものです。今まで、これらの研究成果は中間報告書、最終報告書という形でまとめて、発表してきました。

この度、私たちの研究成果を「ブックレット」という形で刊行することになりましたが、これには二つの理由があります。一つは、私たちは今までの共同研究を情報の共有化と情報公開といった方針で進めてきました。従いまして、研究成果は研究員だけでなく、広く一般の方々にも知っていただきたいということです。もう一つは、地域の課題を連携して解決していくためには、今地域が抱える課題を地域の方々に知っていただき、そのテーマに関する基礎的な知識を身に付けることも大切なことだと考えたからです。

今までの報告書と違い、テーマごとにコンパクトにまとめたつもりです。このブックレットが、地域の課題解決のために活用されることを期待しています。

2003年3月

地域デザインフォーラム 研究員一同  
(代表 中村昭雄 大東文化大学教授)

# 目 次

はじめに .....	1
第1章 板橋区の概要 .....	2
第2章 区民のコミュニティ意識の調査から .....	6
1. 区民のコミュニティ意識の調査の実施 .....	6
2. 区民のコミュニティに対する意識について（総論）.....	6
3. 3つの活動の相関関係について.....	19
4. 3つの活動と属性との関係について .....	22
5. 属性と相関関係の強さについて.....	39
第3章 居住地域による特性 .....	47
1. 居住地域と地域活動 .....	47
2. 日常生活で直面する諸問題の解決 .....	59
3. 自由意見の分析 .....	69
おわりに .....	80
参考資料 .....	81
1 調査結果の単純集計 .....	81
2 用いた調査票 .....	103

## はじめに

平成12年から始まった大東文化大学と板橋区の共同研究事業「地域デザインフォーラム」は、第二期も半ばを過ぎ、ますます充実した研究を進めている。

地域デザインフォーラムは、地域に開かれた大学を志向する大東文化大学と、地域の有力な行政資源として大学と提携したい行政の双方の利点が一致したことから始まった。地域が抱える政策課題を大学と自治体が共同して研究する試みは、全国的にも珍しいパートナーシップの事例である。

本稿は、当フォーラムの第一期において、「まちづくりとコミュニティ」を研究テーマに据えた「地域社会Ⅰ」分科会が、板橋区民を対象に行ったアンケート調査の結果と分析をまとめたものである。一部の内容は14年3月にまとめられた『地域デザインフォーラム』と同様のものであるが、調査結果そのものやその後の分析も含め、一つの成果として残しておく必要があることから、取りまとめたものである。

地域コミュニティの研究を進める資料として、また大学と行政のパートナーシップの参考として活用されることを願うものである。

地域デザインフォーラム 第1期  
分科会Ⅰ 研究員一同